

東京古地図 デジタルアーカイブ調査

栗原智久*

目次

はじめに

凡例

1. 国際日本文化研究センター 所蔵地図データベース
2. 特別区自治情報・交流センター デジタルアーカイブ
3. 市政専門図書館 デジタルアーカイブス

おわりに

キーワード 東京府 東京市 古地図 デジタルアーカイブ インターネット
データベース 明治時代 大正時代 実測図 一般図 内務省地理局
参謀本部陸軍部測量局 15区6郡 15区8郡

はじめに

『東京都江戸東京博物館紀要』第6号(2016年)で「江戸図 デジタルアーカイブ調査」をあらわした。この稿では、江戸時代に描かれた(刷られた)江戸エリアの古地図(都市図)=江戸図をインターネット上で無料で手軽に閲覧できる諸機関のデータベースを紹介した。デジタルアーカイブとは“博物館・図書館・文書館あるいは大学等で所蔵する資料をデジタル画像化・映像化することによって、利用・保存等の用に供することのできるかたちにしたもの”であり、江戸図をデジタルアーカイブ化して利用に供することの効用のひとつとして“閲覧するたびにひろげたりたたんだりすることによって生じるかもしれない折り目の破れや擦れ、汚損といったリスクを回避できる”と書いたが¹⁾、これは江戸図に限らず折りたたみ地図全般にあてはまるものであるということは言うまでもない。

2018年は江戸が東京になってちょうど150年である。ゆえに、東京の地図が作成されはじめてから、もうとうに百年を越えていることになるが、これらが江戸図同様に、オリジナル・複製にかかわらず、デジタルアーカイブ化されているのは望ましい状態であるといえよう。本稿では、インターネット上で閲覧利用可能な東京の古地図のデータベースについて調査する。

江戸から東京への変遷の中で、“江戸と東京の連続性と非連続性”という見方がある²⁾。それを「地図」というものにあてはめてみたときに思うところがある。すなわち、江戸時代が終わって明治時代になっ

*東京都江戸東京博物館司書

て、江戸は東京へ、江戸図は実測図としての東京地図へと成り代わったが、江戸の町すべてがいきなりがらりと変わったわけではないということからすればこれらの地図は「連続的」であるともみられるし、あらわし方がそれまでとは変わったということからすれば「非連続的」であるともみられるということである。江戸図と東京地図を比べたり重ねたりしてみせる本が出版されるようになってから久しいが、地図のデジタルアーカイブ群は、これらの本と同様、この見方に一役買うものとなるであろうか。

実測図は一般図とも称される。

江戸図に実測図がないということでは決してないが、江戸図と言えば、やはりデフォルメのかかった——例えば一辺が優に1メートルを越えるようないわゆる大絵図や、江戸時代後期の切絵図などが思い浮かぶ。それが、時代が変わってどうなったかということであるが、まず1868年(明治1)11月5日、地図に東京と記載するべしということで、“先般江戸称改而東京と被仰出候上は、地図書籍は勿論絵双紙等二至迄御地名を書載候類ハ、都而(すべて)東京と相書候様市中え不洩様可相触候”という町触が出ている³⁾。

それでも最初のうちの東京地図は、江戸図を流用・改変して作成されたものであった。明治2年、明治4年の吉田屋文三郎の東京大絵図はそれだが、明治4年の方の品川の辺りをみるに墨塗りの太い線が取ってつけたように描かれていて、よくみるとそれは新橋～横浜間開通(予定)の鉄道だったりして、何とも面白い⁴⁾。



明治4年 東京大絵図 (部分)

しかし、こうした絵図にはやはり限界があり、実測図としての東京地図が新たに作成されることになる。その嚆矢となったのは、言うまでもなく文明開化、西洋の文物の導入であった。“測量司測量ノ方法西洋式ニ則リ施行致シ、先東京ヨリ起業漸次ニ四方ニ推拡シ(略)今以適當ノ人物無之、此上ハ他国ニ之ヲ求候外無之ニ付、御雇測量師マコヒーンニ托シ英国ヨリ其術ニ達候者七名ヲ雇入”⁵⁾、明治新政府がいわゆる御雇外国人として英国人測量師のマクヴィーン(マコヒーン)らを雇い入れたのは1871年(明治4)、こののち日本近代測量としての三角測量が導入されていく。そして、内務省地理局による

「東京実測全図」や参謀本部陸軍部測量局による「五千分一東京図」に代表されるような実測図としての東京地図が作成されていくのである。

東京は今でも生成・発展し続けているが、産声を上げてから初期の主要であると思われる変遷事項について、主に東京都が発行する『東京市史稿』市街篇をもとにして拾い上げ、以下、表にまとめてあらわしてみる⁶⁾。これらの事項は、地図を作成する上では影響を及ぼすであろうと思われるポイントである。

【表 1】

年	月 日	事 項	『東京市史稿』 市街篇 巻・頁
1868年 (慶応4= 明治1)	1月7日	「江戸ヲ東京ト為ス」「江戸府ヲ改メテ東京府ト称ス」	第49巻・p.268
1869年 (明治2)	2月13日	東京府内を朱引内と朱引外に分ける。	第50巻・p.416
	3月16日	朱引内を50区に分ける。	第50巻・p.530
1871年 (明治4)	6月9日	朱引外を6大区25小区に分ける。	第52巻・p.11
	6月13日	朱引内を44小区とする。	第52巻・p.12
1878年 (明治11)	11月2日	東京府大小区画を廃して府内を15区6郡とする。 15区=麹町区・神田区・日本橋区・京橋区・芝区・麻布区・赤坂区・四谷区・牛込区・小石川区・本郷区・下谷区・浅草区・本所区・深川区 6郡=荏原郡・東多摩郡・南豊島郡・北豊島郡・南足立郡・南葛飾郡	第61巻・p.727
1889年 (明治22)	2月2日	東京府管下市制施行地を指定する（5月1日、東京市設置）。	第76巻・p.962
1893年 (明治26)	4月1日	西多摩郡・南多摩郡・北多摩郡の三多摩郡が神奈川県より東京府へ移管となる。	第85巻・p.494
1896年 (明治29)	4月	東多摩郡・南豊島郡が合併して豊多摩郡となる。	
1923年 (大正12)	9月1日	関東大震災おこる。	
1932年 (昭和7)	10月1日	荏原郡・豊多摩郡・北豊島郡・南足立郡・南葛飾郡の5郡82町村を合併して20区とし、15区と合わせて大東京市35区制とする。 20区=品川区・荏原区・目黒区・大森区・蒲田区・世田谷区（以上、荏原郡より）渋谷区・淀橋区・中野区・杉並区（以上、豊多摩郡より）豊島区・滝野川区・荒川区・王子区・板橋区（以上、北豊島郡より）足立区（南足立郡より）向島区・城東区・葛飾区・江戸川区（以上、南葛飾郡より）	

この表に基づいて言えば、1932年（昭和7）に東京は35区制になるが、本稿ではそれより前——1923年（大正12）の関東大震災を含む大正時代までの東京の古地図データを対象として、部分拡大自在なデジタルアーカイブを調査、3機関のデータベースから採択する。

凡例

1. 原則として各機関のデータベースの表記に基づいた。
2. 資料名についてはデータベースからそのままのワードを「データベース資料名」に、実際にデジタルアーカイブを確認して採取したワードを「資料名」に並記した。
3. 発行された年順に配列した。
4. 改正・再版などは、その年を「発行年」とした。
5. 「作者等」「出版者」は一項目にまとめて記した。
6. データであいまいなところは [] で括った。
7. 基本的に漢字の旧字体は新字体に改めた。(除「データベース資料名」)
8. 資料とデータを照合してわかった誤字脱字等は改めた。

1. 国際日本文化研究センター 所蔵地図データベース⁷⁾



*2018年3月 新画面に変更予定

【表2】

発行年	データベース資料名	資料名	作者等 出版者	大きさ
1869 (明治2)	明治二年東京全図		吉田屋文三郎	118.1×87.4
1870 (明治3) 再刻	永福東京御繪圖		西村屋与八 菊屋幸三郎 吉田屋文三郎	93.5×70.0
1876 (明治9)	新撰區分東京明細圖		西野古海 牧野吉兵衛	119.6×130.0
1878 (明治11)	東京區分全圖	東京区分全圖	浅井其菁 鈴木喜右衛門	48.2×35.0
1878 (明治11)	東京區分明細圖	東京区分明細圖	辻岡文助	48.4×35.2

1879 (明治12)	改正増補 東京区分新圖	改正増補東京区分新図	大須賀龍潭 内田弥兵衛	63.4×49.6
1879 (明治12)	明治十二年東京全図		東京府 相良常雄 北島茂兵衛	112.3×79.9
1881 (明治14)	繪入東京御繪圖 全	東京絵図	山村清助 大倉四郎兵衛	70.9×50.1
1881 (明治14)	改正区分東京細圖 全	改正区分東京細図	宮前謙二 堤吉兵衛	95.6×71.7
1881 (明治14)	名勝圖解東京御繪圖 全	名勝図解 東京御絵図	伊藤静齊 大橋堂児玉弥七	100.3×73.2
1883 (明治16) *1984 (昭和59) 複製、以下同	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麻布区桜田町広尾町 及南豊嶋郡下渋谷村近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国本郷区本郷元富士町 近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国神田区駿河台及本郷 区湯嶋近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国小石川区小石川表町 近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麹町区飯田町及小石 川区小石川町	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麹町区大手町及神田 区錦町近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麹町区八重洲町近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麹町区宝田町近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麹町区代官町及一番 町近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麹町皇城及永田町近 傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国小石川区小日向水道 町近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国牛込区神楽町近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国北豊嶋郡高田村近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国牛込区牛込喜久井町 近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麹町区番町近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麹町区紀尾井町及赤 坂区田町近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国四谷区四谷伝馬町近 傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麻布区市兵衛町近傍	参謀本部陸軍 部測量局	36.0×29.0

1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国麻布区永坂町及坂下町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1883 (明治16)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国赤坂区青山南町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国神田区佐久間町及下谷区仲御徒町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国下谷区上野公園地及車坂町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国浅草区浅草公園地及松清町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国浅草区須賀町及本所区横網町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国日本橋区浜町及本所区相生町深川区常磐町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国日本橋区蛸殻町及深川区佐賀町西大工町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国日本橋区大伝馬町及神田区紺屋町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国日本橋区兜町及京橋区本八丁堀近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国深川区越中嶋及京橋区石川島	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国京橋区新湊町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国隅田河口浅洲	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国京橋区木挽町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国芝区芝浜崎町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国芝区南佐久間町及愛宕町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国芝区芝公園地近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	五千分一東京図測量原図	東京府武蔵国赤坂区青山北町近傍	参謀本部陸軍部測量局	36.0×29.0
1884 (明治17)	明細改正東京新圖	明細改正東京新圖	井上勝五郎	71.3×50.6
1885 (明治18)	明細改正東京新圖	明細改正東京新圖	井上勝五郎	71.8×50.2
1886 (明治19)	東京全圖		児玉又七	98.4×71.3
1886 (明治19)	明細新選東京全圖	明細新選東京全圖	長谷川政忠 松成伊三郎	71.3×50.9
1887 (明治20)	明治改正東京全圖	明治改正東京全圖	嵯峨野彦太郎	73.8×52.7
1887 (明治20) 改正	明細測量東京全圖	明細測量東京全圖	鈴木金次郎 松影堂	72.2×51.5
1889 (明治22)	新撰實測東京圖	新撰實測東京圖	永松作之助	67.8×49.7
1889 (明治22) 改正	改正明細東京圖付横濱全圖	改正明細東京圖 附横濱全圖	児玉又七 山田金三郎	79.1×49.4

1890 (明治23)	東京精測新圖	東京精測新図	大村恒七 福田熊次郎 和田米三	72.2×50.8
1890 (明治23) 改正	改正東京全圖	改正東京全図	綱島亀吉 依田治右エ門	70.4×49.2
1890 (明治23) 改正再版	改正東京府管轄測量全圖	改正 東京府管轄測量全図	伊藤静齋 児玉又七	99.2×72.4
1891 (明治24)	改正東京測量里程新圖	改正東京測量里程新図	児玉又七	71.9×51.1
1891 (明治24)	市郡變稱東京全圖	市郡変称 東京全図	嵯峨埜彦太郎 隆盛堂和田香山	73.9×53.4
1892 (明治25)	明治二十五年実測東京全図	新撰東京全図	金澤良太 大倉保五郎 大倉書店	96.2×73.2
1895 (明治28)	改正實測東京全圖	改正実測東京全図	粟生田久次郎	71.2×50.5
1895 (明治28)	改正東京全圖 (Map of Tokyo)	MAP OF TOKYO 改正 東京全図	嵯峨野彦太郎	74.0×52.0
1900 (明治33)	改正東京全圖 (Map of Tokyo)	MAP OF TOKYO 改正 東京全図	嵯峨野彦太郎	74.8×54.6
1900 (明治33) 再版	東京全圖	東京全図	嵯峨野彦太郎	55×78.5
1903 (明治36)	小石川區全圖	小石川区全図	飯田錦之助 萩野榮五郎 博益社	54.3×39.0
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市赤坂區全圖	明治四十年一月調査東京市赤坂区全図	東京郵便局 大倉書店	72×78
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市淺草區全圖	明治四十年一月調査東京市浅草区全図	東京郵便局 大倉書店	79×100
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市麻布區全圖	明治四十年一月調査東京市麻布区全図	東京郵便局 大倉書店	70×73
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市牛込區全圖	明治四十年一月調査東京市牛込区全図	東京郵便局 大倉書店	72×84
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市神田區全圖	明治四十年一月調査東京市神田区全図	東京郵便局 大倉書店	62×67
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市京橋區全圖	明治四十年一月調査東京市京橋区全図	東京郵便局 大倉書店	77×77
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市小石川區全圖	明治四十年一月調査東京市小石川区全図	東京郵便局 大倉書店	75×89
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市麴町區全圖	明治四十年一月調査東京市麴町区全図	東京郵便局 大倉書店	80×91
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市下谷區全圖	明治四十年一月調査東京市下谷区全図	東京郵便局 大倉書店	73×86
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市芝區全圖	明治四十年一月調査東京市芝区全図	東京郵便局 大倉書店	78×131
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市日本橋區全圖	明治四十年一月調査東京市日本橋区全図	東京郵便局 大倉書店	63×66
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市深川區全圖	明治四十年一月調査東京市深川区全図	東京郵便局 大倉書店	78×101
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市本郷區全圖	明治四十年一月調査東京市本郷区全図	東京郵便局 大倉書店	68×101

1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市本所區全圖	明治四十年一月調査東京市本所區全圖	東京郵便局 大倉書店	80×103
1907 (明治40)	明治四十年一月調査東京市四谷區全圖	明治四十年一月調査東京市四谷區全圖	東京郵便局 大倉書店	55×64
1907 (明治40)	明治四十年東京全圖	実測改正最新東京全圖	嵯峨野彦太郎	80.1×56.1
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	東京及郡部之圖		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	東京市電車圖		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	麹町区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	神田区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	日本橋区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	京橋区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	芝区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	麻布区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	四谷及赤坂区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	牛込区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	小石川区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	本郷区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	下谷区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	浅草区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	本所区之部		24.5×18.7
[1910 (明治43)]	携帯番地入東京區分地圖	深川区之部		24.5×18.7
1911 (明治44)	市郡變稱東京全圖	市郡変称 東京全圖	嵯峨野彦太郎	78.1×54.7
1911 (明治44)	實地踏測東京市街全圖	実地踏測 東京市街全圖	日下伊兵衛 精華堂書店	79.2×54.0
1913 (大正2)	東京郊外地圖	東京郊外地圖	伊藤政三 博愛館	78.7×54.2
1913 (大正2) 99版	東京市全圖番地入	番地入 東京市全圖 改正町名 市区改正	安藤力之助 金松堂	78.5×54.6
1914 (大正3)	大正三年東京全圖	実地踏測 東京市街全圖	日下伊兵衛 精華堂書店	78.7×54.4
1915 (大正4)	改正調査番地入東京市全圖電車線 路明細入	改正調査番地入 東京市全圖 電車 線路明細入	黒木半之助 博画館 日吉堂	79.2×55.3
1916 (大正5)	青梅	青梅	大日本帝国陸 地測量部	47×59
1916 (大正5)	實地踏測番地入東京市街全圖	実地踏測 番地入 東京市街全圖	日下伊兵衛 和楽路屋 東京書林雜誌 店 精華堂 精文堂	78.8×54.9
1916 (大正5)	早見東京市全圖	早見 東京市全圖	馬場勝治郎 龍王堂	79.0×54.6

1916 (大正5) 26版	東京府全圖	東京府全圖 大日本分県地図 全五 拾一枚之内	安藤力之助 伊藤為次郎 雄文館	40×53
1916 (大正5) 訂正	改正番地入東京市全圖改正町名市 區改正	改正番地入東京市全圖 改正町名 市区改正	伊藤為次郎 雄文館	79.3×54.1
1916 (大正5) 訂正8版	東京市及附近番地入地圖	東京市及附近番地入地圖	東京出版社 黒岩芳馬 遠藤善寿 丸善好文館 雄文館	109.4×78.4
1917 (大正6) 訂正11版	東京郊外地圖	東京郊外地圖 東京出版社蔵版	高岡正次 遠藤善寿 伊藤為次郎 丸善好文館 雄文館	79.0×54.4
1917 (大正6) 訂正大増補	改正番地入東京市全圖改正町名市 區改正	改正番地入東京市全圖 改正町名 市区改正	伊藤為次郎 雄文館	79.4×54.6
1918 (大正7) 訂正16版	東京市全圖早わかり番地入	早わかり 番地入 東京市全圖	安達豊吉 便覧社	78.8×55.1
1919 (大正8)	東京西北部	東京西北部	大日本帝国陸 地測量部	58.0×45.6
1920 (大正9) 訂正25版	改正番地入東京市全圖：里程町名： 早わかり	改正番地入 東京市全圖 里程町名 早わかり	遠藤善寿 丸善好文館	55×79
1920 (大正9) 訂正38版	大正九年東京全圖	早わかり 番地入 東京市全圖	安達豊吉 便覧社	78.5×55.6
1920 (大正9) 訂正4版	東京府全圖	東京府全圖 最新詳密金刺分県図	木崎盛政 金刺源次 大江印刷所	39.2×54.5
1922 (大正11)	最新式大東京地圖番地入	大東京地図 最新式 番地入 東京日 日新聞 満五十年記念 附録	木崎龍尾 小川彦平 精美堂	108.1×78.5
1922 (大正11)	實用東京案内大地圖附明治神宮參 拝及平和博覽會場圖	實用 東京案内大地圖 附明治神宮 參拝及平和博覽會場圖 萬朝報附 録	島尾好平 萬朝報社 栄光社	78.8×55.0
1922 (大正11)	東京市全圖：早見	早見 東京市全圖	馬場勝治郎 龍王堂	55×80
1922 (大正11) 訂正37版	早わかり改正番地入東京市全圖里 程町名	改正番地入 東京市全圖 里程町名 早わかり	遠藤善寿 丸善好文館	79.1×54.7
1923 (大正12) 15版	最新模範東京市全圖	最新模範東京市全圖	麻生忠康 檜村音次郎 文明堂書店	79.4×55.2
1923 (大正12)	震災焼失区域明細東京市全圖	震災焼失区域明細 東京市全圖	山口弥一 東京情報社	79.0×54.5
1923 (大正12)	大正地震東京大火明細圖焼失區域 實地踏査	大正地震 東京大火明細圖 大正 十二年九月 焼失区域實地踏査	男沢一志 大森金之助	63.7×47.2
1923 (大正12) 訂正3版	大正十二年東京大震火災地圖	大正十二年 東京大震火災地圖	進藤俊介 中山喜三郎 丸之内新聞社	109.4×79.2

1924 (大正13)	實地踏測番地入東京市街全圖	実地踏測 番地入 東京市街全図	日下伊兵衛 和楽路屋 東京書林雜誌 店	78.7×53.9
1924 (大正13)	東京及横濱復興地圖時事新報附録 復興局公認	東京及横濱復興地圖 復興局公認 時事新報附録	石川連城 時事新報社 精美堂	109.4×79.0
1924 (大正13)	町名早見番地入東京復興地圖大正 十二年九月一日關東大震災被害調 査全圖付	町名早見 番地入 東京復興地圖 大 正十二年九月一日關東大震災 被害 調査全圖付	中尾次一 文光堂	78.6×54.4
1925 (大正14)	最新大東京地圖	最新大東京地圖 其一城西 東京 日日新聞附録	木崎龍尾 精美堂	108.5×78.3
1925 (大正14)	最新大東京地圖	最新大東京地圖 其二城東 東京 日日新聞附録	木崎龍尾 精美堂	109.1×78.4
1925 (大正14)	大正十四年東京全図	最新大東京地圖		84.4×61.5
1925 (大正14) 訂正3版	大東京市郊外地圖最新調査番地入 交通明細	大東京市郊外地圖 最新調査番地入 交通明細	生田重保 金井直三 雄文館	119.0×79.2
1925 (大正14) 訂正16版	東京市全図	番地入 東京市全図	湊富雄 湊屋書房	79.5×54.8

2. 特別区自治情報・交流センター デジタルアーカイブ⁸⁾

公益財団法人 特別区協議会 特別区協議会は特別区(東京23区)の自治の発展を
目的として設立された公益財団法人です

検索

※アクセス地図 ※サイトマップ

特別区協議会	調査研究	講演会・イベント・企画展示	刊行物
特別区自治情報・交流センター	特別区の紹介	共同事業	東京区政会館

HOME > 資料紹介

特別区自治情報・交流センター

特別区自治情報・交流センター

資料紹介

特別区自治情報・交流センターが所蔵する資料の一例を紹介します。
古地図等一部の資料は、デジタルアーカイブでご覧いただけます。

【表3】

発行年	データベース資料名	資料名	作者等 出版者	大きさ
1897 (明治30) 再版	第5 東京市四谷区 東京市拾五区 区分全図 第五 四谷区全図	明治二十八年十二月調査 東京市四 谷区全図	東京郵便電信局 北島茂兵衛 大須賀龍潭	53.8×63.4
1898 (明治31) 再版	第6 東京市赤坂区 東京市拾五区 区分全図 第六 赤坂区全図	明治二十八年十二月調査 東京市赤 坂区全図	東京郵便電信局 北島茂兵衛 大須賀龍潭	70×76.4

1898 (明治31) 再版	第7 東京市麻布区 東京市拾五区 区分全図 第七 麻布区全図	明治二十九年一月調査 東京市麻布 区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 大須賀龍潭	69×71.5
1898 (明治31) 再版	第10 東京市牛込区 東京市拾五区 区分全図 第十 牛込区全図	明治二十九年八月調査 東京市牛込 区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 大江太	70.5×83
1898 (明治31) 再版	第11 東京市小石川区 東京市拾五 区区分全図 第十壹 小石川区全図	明治二十九年十月調査 東京市小石 川区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 大須賀龍潭	72.5×88.8
1899 (明治32) 再版	第12 東京市芝区 東京市拾五区 区分全図 第十貳 芝区全図	明治二十九年十二月調査 東京市芝 区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 大江太	75.3×120.8
1899 (明治32) 再版	第14 東京市本所区 東京市拾五区 区分全図 第十四 本所区全図	明治三十年五月調査 東京市本所区 全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 大江太	78×102.4
1900 (明治33) 再版	第1 東京市日本橋区 東京市拾五 区区分全図 第一 日本橋区全図	明治二十八年七月調査 東京市日本 橋区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 大江太	61.2×65.5
1900 (明治33) 再版	第2 東京市神田区 東京市拾五区 区分全図 第二 神田区全図	明治二十八年七月調査 東京市神田 区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 大江太	62×65.4
1900 (明治33) 改正3版	第3 東京市京橋区 東京市拾五区 区分全図 第三 京橋区全図	明治三十年十一月調査 東京市京橋 区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 豊室倉吉	74.7×76
1900 (明治33) 改正3版	第4 東京市麹町区 東京市拾五区 区分全図 第四 麹町区全図	明治二十八年七月調査 東京市麹町 区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 豊室倉吉	77.3×85
1900 (明治33) 3版	第8 東京市下谷区 東京市拾五区 区分全図 第八 下谷区全図	明治二十九年二月調査 東京市下谷 区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 平野徳次郎	73.9×84.6
1900 (明治33) 改正再版	第15 東京市深川区 東京市拾五区 区分全図 第十五 深川区全図	明治三十年十一月調査 東京市深川 区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 竹内萬里	78×100
1901 (明治34) 3版	第13 東京市浅草区 東京市拾五区 区分全図 第十三 浅草区全図	明治三十年二月調査 東京市浅草区 全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 竹内萬里	78×97.2
1902 (明治35) 訂正3版	第9 東京市本郷区 東京市拾五区 区分全図 第九 本郷区全図	明治二十九年五月調査 東京市本郷 区全図	東京郵便電信局 北畠茂兵衛 岡田鍊一	67.8×100.4

3. 市政専門図書館 デジタルアーカイブス⁹⁾



【表4】

発行年	データベース資料名	資料名	作者等 出版者	大きさ
1900 (明治33)	改正実測東京全図 附. 東京名所方位里程表	改正実測 東京全図	皆川金太郎 村上豊次郎	72.3×50.7
1916 (大正5)	「東京」復興計画図 (其1) 街路、運河、公園	復興計画図 (其一)	大日本帝国陸地測量部	86.1×65.8
1917 (大正6)	東京市浅草区 附. 浅草区町名河岸名一覧表	東京市浅草区	東部通信局 通信協会 小林又七	98×78.5
1917 (大正6)	東京府荏原郡池上村 附. 荏原郡池上村字名一覧表	東京府荏原郡池上村	東部通信局 通信協会 小林又七	78.1×98.5
1917 (大正6)	東京府荏原郡碑衾村 附. 荏原郡碑衾村字名一覧表	東京府荏原郡碑衾村	東部通信局 通信協会 小林又七	79×85.5
1917 (大正6)	東京府荏原郡馬込村 附. 荏原郡馬込村字名一覧表	東京府荏原郡馬込村	東部通信局 通信協会 小林又七	86.5×79
1917 (大正6)	東京府北豊島郡上板橋村 附. 上板橋宿字名一覧表	東京府北豊島郡上板橋村	東部通信局 通信協会 小林又七	94×64
1917 (大正6)	東京府北豊島郡岩淵町 附. 北豊島郡岩淵町字名一覧表	東京府北豊島郡岩淵町	東部通信局 通信協会 小林又七	79.5×87.5
1917 (大正6)	品川	品川	大日本帝国陸地測量部	46×57.5
1917 (大正6)	洲崎	洲崎	大日本帝国陸地測量部	46×57.5
1917 (大正6)	日本橋 1917.12.	日本橋	大日本帝国陸地測量部	46×57.5

1917 (大正6)	四谷 1917.12.	四谷	大日本帝国陸地測量部	46×57.5
1917 (大正6)	上野 1917.12.	上野	大日本帝国陸地測量部	46×57.5
1917 (大正6) 測図	[東京] 市場計画図	街路並運河計画図 市場計画図	大日本帝国陸地測量部	85.3×125.7
1917 (大正6) 測図	「東京市」公園計画図	街路並運河計画図 公園計画図 東京近郊	大日本帝国陸地測量部	83.6×125
1917 (大正6) 測図	「東京市」街路並運河計画図	街路並運河計画図 東京近郊	大日本帝国陸地測量部	90.5×125.6
1917 (大正6) 測図	「東京市」街路並運河計画図 (2)	街路並運河計画図 東京近郊	大日本帝国陸地測量部	90.1×65.4
1918 (大正7) 訂正	東京府南葛飾郡亀戸町大島町 附. 南葛飾郡亀戸町・大島町字名一覧表	東京府南葛飾郡亀戸町大島町	東部通信局 通信協会 小林又七	79×76
1919 (大正8)	田無 二万五千分之一地形図 東京 近傍15号	田無	大日本帝国陸地測量部	57.8×45.6
1919 (大正8) 再版	東京市京橋区 附. 京橋区町名河岸 名一覧表	東京市京橋区	東京通信局 通信協会 小林又七	79.5×87
1919 (大正8) 再版	東京築港計画平面図	東京築港計画平面図	水路部	80×109
1919 (大正8) 補入	東京首部 1919.10.	東京首部	大日本帝国陸地測量部	46×58
1919 (大正8) 補入	東京都市計画地域指定参考図	東京都市計画地域指定参考図	大日本帝国陸地測量部	81×101
1920 (大正9)	東京近郊 五万分之一地形図	東京近郊	大日本帝国陸地測量部	65×90.5
1920 (大正9) 2版	東京市日本橋区 附. 日本橋区町名 河岸名一覧表	東京市日本橋区	東京通信局 通信協会 小林又七	71×57.5
1921 (大正10)	東京都市計画地図 附. 東京都市計 画地図事業索引 都市計画東京地方 委員会公認	東京都市計画地図 都市計画東京 地方委員会公認	遠藤市次	77.7×101.3
1921 (大正10) 2版	東京市深川区 附. 深川区町名河岸 名一覧表	東京市深川区	東京通信局 通信協会 小林又七	97.5×79
1921 (大正10) 2版	東京市小石川区 附. 小石川区町名 河岸名一覧表	東京市小石川区	東京通信局 通信協会 小林又七	84×78
1921 (大正10) 2版	東京市下谷区 附. 東京市下谷区町 名一覧表	東京市下谷区	東京通信局 通信協会 小林又七	90.5×78
1921 (大正10) 2版	東京市本所区 附. 本所区町名河岸 名一覧表	東京市本所区	東京通信局 通信協会 小林又七	95.5×78
1922 (大正11)	「東京」市内雨水流下係数図	市内雨水流下係数図	東京市下水課 臨時調査掛	78.6×54.1

1922 (大正11) 2版	東京市牛込区 附. 牛込区内町名河 岸名一覧表	東京市牛込区	東京通信局 通信協会 小林又七	72.5×92
1922 (大正11) 2版	東京市四谷区 附. 四谷区町名一覧 表	東京市四谷区	東京通信局 通信協会 小林又七	54.5×76.5
1922 (大正11) 訂正	改正番地入東京市全図 里程町名早 わかり 附. 横浜全図	改正番地入 東京市全図 里程町名 早わかり	遠藤善寿 丸善好文館	53×79
1923 (大正12)	東京都市計画区域人口密度図	東京都市計画区域人口密度図		48.2×38.6
1923 (大正12)	東京都市計画区域交通系統図	東京都市計画区域交通系統図		39×48.5
1923 (大正12)	東京市下水道計画平面図	東京市下水道計画平面図		81.8×131.7
1923 (大正12)	早稲田 1923.05.	早稲田	大日本帝国陸 地測量部	46×57.5
1923 (大正12)	四谷 1923.05.	四谷	大日本帝国陸 地測量部	46×57.5
1923 (大正12)	「震災焼失区域明細」東京市全図 附. 東京市震災焼失町名一覧表	震災焼失区域明細 東京市全図	山口弥一 東京情報社	52.5×79
1923 (大正12)	東京大震災火災地図 大正12年	大正十二年 東京大震災火災地図	進藤俊介 丸の内新聞社	109×78.5
1923 (大正12)	最新東京市全図 大正12年9月1日 震災焼失図 附横浜全図	最新東京市全図 大正十二年九月一 日震災焼失図	本原政吉	55×78
1923 (大正12)	東京市役所調査東京市震災焼失地 域図	東京市役所調査 東京市震災焼失地 域図	東京市役所震 災救護部 文正社	53.8×38.9
1923 (大正12)	最新模範東京市全図 大正12年9月1 日 大震大火 (焼失) 地域図	最新模範東京市全図 大正十二年九 月一日 大震大火地域図	麻生忠康 檜村音次郎 文明堂書店	55×79
1923 (大正12)	帝都大震火災系統地図 大正12年9 月 附. 解説及索引	大正十二年九月 帝都大震火災系 統地図 MAP OF THE FIRE OF TOKYO	東京帝国大学 罹災者情報局 小野縣人 精美堂	80×109.5
[1923 (大正12)]	「東京」大震火災発火地点	大震火災発火地点		78.5×53
[1923 (大正12)]	東京附近ニ於ケル鉄筋コンクリー ト造建築物被害分布図 大正12年9 月1日震災	大正十二年九月一日震災 東京附近 ニ於ケル鉄筋コンクリート造建築 物被害分布図 東京地図	警視庁保安部 建築課 大江印刷	102.5×79
[1923 (大正12)]	東京附近ニ於ケル木造建物被害分 布図 大正12年9月1日震災	大正十二年九月一日震災 東京附近 ニ於ケル木造建物被害分布図 東京地図	警視庁保安部 建築課 大江印刷	79.1×107.8
1924 (大正13)	東京都市計画事業街路及運河 附. 街路及運河幅員間米突対照表	東京都市計画事業街路及運河図	東京市調査課	78.5×55
1925 (大正14)	大東京全図「大東京都市綜覧附図 」附. 東京都市計画防火地区図	大東京全図 大東京綜覧附図	安室豊 美術印刷	80.5×106
[1925 (大正14)]	東京都市計画地域指定参考図 (大 正14年1月26日指定以前ノ案)	東京都市計画地域指定参考図		77.9×107.6
[1925 (大正14)]	東京市高低図	東京市高低図 東京地図		78.6×99.5

[1925 (大正14)]	東京都市計画防火地区図 大正14年4月2日 内務省告示第62号 大正14年4月22日施行	東京都市計画防火地区図 大正拾四年四月二日 内務省告示第六拾二号 大正拾四年四月二拾二日施行	[内務省]	54×79
[1925 (大正14)]	東京都市計画地域図 大正14年1月26日 内務省告示第14号 大正14年2月15日施行	東京都市計画地域図 大正拾四年一月廿六日 内務省告示第拾四号 大正拾四年二月拾五日施行	[内務省]	110×78
[1925 (大正14)]	東京都市計画防火地区指定参考図 (第二図) 大正十四年四月二日 内務省告示第六二号	東京都市計画防火地区指定参考図 大正十四年四月二日 内務省告示第六二号 大正拾四年四月二拾二日施行 (第二図)	[内務省]	53×77.5
1926 (大正15)	「東京市」土地区画整理区域内外町界町名整理図 (復興局決定案)	土地区画整理区域内外 町界町名整理図 (復興局決定案)	復興局 遠藤納	82×109
1926 (大正15)	「東京市」土地区画整理区域内外町界町名整理図	土地区画整理区域内外 町界町名整理図	復興局 遠藤納 明報堂	79×109
1926 (大正15)	大東京都市計画道路網図	大東京都市計画道路網図	復興局 陸地測量部	102.3×75.4
1926 (大正15)	日本橋 1926.06.	日本橋	大日本帝国陸地測量部	46×57.5
1926 (大正15)	早稲田 1926.06.	早稲田	大日本帝国陸地測量部	46×57.5
1926 (大正15)	四谷 1926.06.	四谷	大日本帝国陸地測量部	46×57.5
1926 (大正15)	上野 1926.07.	上野	大日本帝国陸地測量部	46×57.5
1926 (大正15)	新橋 一万分之一地形図 東京近傍8号	新橋	大日本帝国陸地測量部	58×45.8
1926 (大正15)	三田 一万分之一地形図 東京近傍13号	三田	大日本帝国陸地測量部	57.9×45.5
1926 (大正15)	品川 一万分之一地形図 東京近傍14号	品川	大日本帝国陸地測量部	58×45.7

おわりに

ほかにも国立国会図書館・国立公文書館・目黒区立図書館・文京区立図書館などが、東京の古地図をデジタルアーカイブ化してインターネット上で閲覧できるページを設けている。これらについてはあらためて調査するとともに、2年前にあらわした「江戸図 デジタルアーカイブ調査」中、すでにページの変更がみられるものがあるので、機会があればこちらをもまとめて調査したい。

【註】

- 1) 『東京都江戸東京博物館紀要』第6号 東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館・2016年・p.55-56
- 2) 『江戸東京学事典』小木新造ほか・三省堂・1987年・p.3
- 3) 『東京市史稿』市街篇第50巻 東京都・1961年・p.226
- 4) 目黒区立図書館の目黒資料のページ「古地図を見る」からデジタルアーカイブで閲覧することができる。
(<http://www.meguro-library.jp/data/oldmap/map3/>)

5) 『資料御雇外国人』 ユネスコ東アジア文化研究センター・小学館・1975年・p.423

6) ほかに以下の資料などを参照した。

『東京百年史 別巻・年表 索引』 東京百年史編集委員会・東京都・1980年

『増補版 江戸東京年表』 吉原健一郎ほか・小学館・2002年

7) <http://db.nichibun.ac.jp/ja/category/syozou-map.html>

8) <https://www.tokyo-23city.or.jp/base/archive.html>

9) https://www.timr.or.jp/library/degitalarchives_shinsai.html

* 【表3】の「大きさ」は特別区自治情報・交流センターにデータをご提供いただいた。

* データの照合には梅原真千恵氏、諸橋薫氏に助力いただいた。